

地域おこし協力隊通信 (No. 25) つかみどころは中種子町



種子島全体を見ると中種子町の部分は棒状の粘土をぎゅっ握ったあのようなようにくびれている。本能的にここを握りたくなる。この形どこかで見ることがあった。五鈷杵(ごこしよ)である。これは、日本仏教の一部の宗派やチベット仏教で用いられる法具。この五鈷杵は密教の法具では特に重要なものらしく、弘法大師空海が愛用していた。ちなみにその用途は、邪気から身を護り、運氣を向上させると言われている。ネットでの情報で注目する記述があった。五鈷杵の中央の柄の部分には大日如来の加持力が宿っていて、行者は大日如来と一体化するためそこに握る、という。その大日如来は「命あるもの全てを生み出した存在」というそれはスゴイ仏さま。ハナシが広がりすぎました。本能的に、または加持力を得たいために握りたくなる人もいるかもしれない中種子町は種子島でもつ

かみどころである。この「つかみどころ」とは辞書でみると、理解したり判断するための手がかりとなるところ、と書いてある。要するに中種子町は森羅万象においてキーになる町である。大日如来がおはす町である。もう、ほとんどこじつけの感が満載してきたが、このこじつけをコンセプトに「タネガシマニア」という物産展を9月の初めに大阪で開いた。またKKBのふるさとCM大賞にも応募した。物産展では自身が一市二町からセレクトした13業者48種類565商品を販売、およびサーフアイランド、またJPSA種子島プロの宣伝をした。新しい展開として過去に協力隊が制作した映像を常時流す。開催中、多数の出郷者をはじめ、一般客の来場があった。さらに、物産の業者も多く訪れ販路拡大につながる可能性も生んだ。タネガシマニアから出品した565商品も結果的にはすべて完売となる。そしてCMの内容は町の方々13人が登場してキーワードを伝えるというもの。詳しいことは今月下旬予定の放送にてお楽しみに。(山村)

出身者と地元在住者の交流 第28回ふるさとゴルフ・第3回グラウンドゴルフ

本町出身者と地元在住者の交流を目的とする「第28回中種子ふるさと交流親善ゴルフ大会」と「第3回グラウンドゴルフ大会」が、10月6日にあり、参加者は互いに再会を喜び合い、プレーを楽しみました。

ゴルフは、種子島ゴルフリゾートで行われ、地元102人、出身者18人、計120人が参加。好プレーの続出に、大会は大いに盛り上がりました。また、大会では、地元への寄付金として各ホールにチャリティ金を設け、9万9千円が集まりました。

グラウンドゴルフは、太陽の里多目的広場で行われ、地元41人、出身者1人、計42人が参加しました。こちらも真剣なプレーの中にも、楽しい会話やホールインワンの達成に、大会は大いに湧きました。

また、夜は中央公民館で祝賀会が行われ、互いに健闘を讃え合う様子が見られました。



グラウンドゴルフ

優勝：成尾 正一
2位：牧瀬 秀人
3位：上妻 健二



ゴルフ

優勝：宮城 薫(近畿)
2位：山田 和春
3位：竹原 政俊

シニア優勝：宮田 正雄
ベストグロス賞：森山 裕次
レディス賞：黒木 みや子